

地方創生特別委員会からの提案・意見の対応

提案・意見	総合戦略への対応
<p>健康寿命（KPI）について、65歳からの健康寿命を0歳からの健康寿命に変えているが、健康寿命に対する関心は、高齢者が高いと思われる。わかりやすさと関心の高さは異なると思う。</p>	<p>健康寿命の算定方法には様々な方法があり、65歳時点の健康寿命については、国民生活基礎調査（アンケート）の結果で、3年ごとの更新となるため、毎年確認できるKDBシステムを活用した0歳時点の健康寿命(要介護度2以上を不健康な状態)を指標とした。</p>
<p>小・中学校学習用コンピューターの整備率（KPI）について、国が一人一台を打ち出している中、当たり前の整備内容である印象を持つ。数字で分かりやすくということはわかるが、ハード整備だけではいけない。それ以外のところの学校内のネットワークを構築するということが目指すべき目標になると思う。</p>	<p>文部科学省が示すロードマップに沿って、新居浜市においても学習用端末を整備していく目標とするとともに、校内での通信ネットワークの整備についても、高速通信に向けた整備も進めています。</p> <p>また、学習用端末を利用したこどもたちが学習内容を分かりやすいと思った割合を新たなKPIに追加した。</p>
<p>市内の防災士の数（KPI）について、女性の割合に対する目標値は明記しないのか？全市的な女性の登用率を当てはめて考えるのかどうか？安心のためには、人数ではなく質や中身が大切。避難所の運営の中に女性の視点を入れることなどが大切なことであると思う。</p>	<p>地区防災計画や避難所運営において、女性の意見を反映させるため女性防災士の活躍が期待される。連合自治会から防災士養成講座受講者を推薦してもらう際には、女性の積極的な推薦をお願いしている。KPIは防災士資格取得者の総数であることから、現在20%程度の女性の割合を急激に増やすことは難しいが、新規取得者の30%を女性防災士が占めることを目標にし、令和6年には資格取得した防災士の総数の25%が女性となることを目指す。</p>
<p>健康寿命（KPI）について、今後は、このような指標を用いるということか？新居浜市の数字はよく出ているように見える。全国一律にしておかないと基準が異なれば困る。</p>	<p>健康寿命の算定方法には様々な方法があり、国県においては健康な人の定義を国民生活基礎調査の「日常生活に制限のない人」や「自分が健康であると自覚している人」を基に算定された健康寿命となっている。本市においては、国民生活基礎調査を用いることができないため、KDBシステムを活用し、介護レセプトデータを用いた算定となっており、全国一律にすることは難しく、年次推移の評価となる。</p>
<p>教育環境の整備（施策）について、放課後学び塾に支給されているタブレットは活用されているか？コンピューターの整備を充実するならば、内容の充実が必要。</p>	<p>放課後まなび塾でのタブレット活用については、各まなび塾において学習ソフト等を活用した児童の自主学習や、アニメーションなどを使った楽しく学べる教材として使用し、児童の学習意欲の向上につなげている。また、放課後まなび塾だけではなく、放課後子ども教室での利用も進めており、ICTを活用した効果的な体験学習を進める。</p>
<p>設定したらよいと思うKPIについて、先進的技術への実証実験やICT企業の誘致という新しい取組が始まることから、実証実験の数みたいな目標を設定しては？</p>	<p>新産業の創出に係るKPIについては、第1期から「企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数」を設定することから引き続き設定し、「実証実験の数」については、行政評価における指標として検討したい。</p>
<p>設定したらよいと思うKPIについて、入込客数で設定しているが、お土産や地域産品の販売額などを入れては？</p>	<p>交流人口拡大の推移を把握するためには、年間入込客数及び本市の主要観光施設であるマイントピア別子への入込客数をKPIとして設定することが最も適切であると考えます。</p> <p>お土産、地域産品の販売額については、観光入込客の増加に関係なく増加する要素も含まれているため、交流人口の推移を把握するKPIとしては設定しづらい面があるが、観光施策の推進状況を把握するためには有効な指標であるため、観光振興計画のメイン指標に設定し、進捗管理を行っている。</p>

地方創生特別委員会からの提案・意見の対応

提案・意見	総合戦略への対応
<p>設定したらよいと思うKPIについて、企業版ふるさと納税の納税額を目標として設定しては？</p>	<p>提案を受け、企業版ふるさと納税企業数をKPIとする。金額については、今回からの導入であり、まずは新居浜市に寄付しようとする企業を募るために、本市のPRや実施しようとする事業のPRを推進する。</p>
<p>設定したらよいと思うKPIについて、子育て応援パスポートについて、経済的支援と言いつつ、配布型になっており、お店側がどれくらいの支援をしたかがわからないので、双方で確認できる経済的な支援額を設定しては？</p>	<p>子育て応援パスポート事業については、事業者の意思により協賛し、料金の割引に限らずその事業者ができる範囲の支援を行う事業のため、支援額を設定することは困難と考える。 (支援額を設定するのであれば、この事業の仕組みを再構築する必要があると思われる。)</p>
<p>設定したらよいと思うKPIについて、スマートシティを進めて行くうえで、地域ポイントを含めて、KPIを設定しては？</p>	<p>スマートシティを推進する中で、今年度はプラットフォームの構築と子どもや高齢者等の見守りや地域ポイント事業実施に向けた実証実験を行っており、今後データをどのように生かすかの検討については次年度以降となることから、現時点でKPIに設定する予定はないが、事務事業の検証における指標として検討する。</p>
<p>設定したらよいと思うKPIについて、市域、組織を越えた連携について、部局間連携でやっていける事業数を部局間連携数として設定しては？</p>	<p>部局間連携については、今後の事業推進、総合戦略の目標達成においては重要なことではあるが、市の内部事情であることや、すべての事業に必要なことであることから、KPIとしては採用しない。</p>
<p>市域、組織の連携について、三市における人材を共有という視点が文言として見られない。アドバイザー的な形でそれぞれのもつ人材を共有できる文言の標記があれば。</p>	<p>具体的な取り組みについてすべてを表記しているわけではなく、今後の三市連携等で協議していく。</p>
<p>外国人が増加し、国際化が進んでいるが、その点を進める文言が見当たらない。これからの総合戦略であることから、全体で外国人を受け入れる体制が必要と思う。</p>	<p>外国人の受け入れ等については、非常に重要な課題であるが、総合戦略が東京一極集中の是正と人口減少問題に特化した計画であることから、第6次長期総合計画で対応することとし、第2期総合戦略の中では具体的な表記は行わないこととする。</p>